

## アジアと北極海航路

～変貌する北極域とアジア、欧州とアジア研究者による学際的研究の動向～

主催：リーズ大学 東アジア政治経済研究所、北海道大学 北極域研究センター、

北海道大学 GI-CoRE 北極域研究グローバルステーション

後援：(一社)寒地港湾技術研究センター、北海道経済同友会

<http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/2016/jp/aica/>

専門家ワークショップ: Oct.26<sup>th</sup> 10:00-12:00

北海道大学 北キャンパス 創成研究棟: 5F セミナールーム

公開セミナー Oct. 26<sup>th</sup> 14:00-16:30

北海道大学 遠友学舎談話室

北極海航路の長期的な活用は、多くの環境的、経済的、地政学的、気候的、社会的、ならびに国家政策的な要因に強く由来しており、学際的・多面的視点から考えることが必要となっています。本セミナーは、アジア・北米・欧州の多様な研究者が協働し、前記のような特性をもつ北極海航路に関し、アジア地域の政策ならびにその背景を中心とした研究成果を紹介し、研究の社会的実装をはかると同時に、参加者からの反応を今後の研究にフィードバックすることを企図しています。

午前のセミナーは専門家を対象に英語で開催し、発表とディスカッション、午後のセミナーはより一般の参加者を想定し、研究成果の紹介を主体に日本語の逐次通訳を提供し、質疑の時間も設けて開催します。

本研究は、英国リーズ大学クリストファー・デント教授を代表とする英国・フィンランド・スウェーデン・ノルウェー・インド・日本・韓国・中国の研究者からなる研究チームによる、国際政治・安全保障・経済・海事・地政学・環境などの学際的分野のネットワークのもとで進められている、欧州・アジア・ロシアの地域研究の成果を紹介するものです。研究の概要については、Web サイトにて公開されています(<http://asiachangingarctic.com/asia-nsr>)。研究目的と概要は。

- ☉ アジアにおける、北極海航路の価値・戦略・対応等に関する知識と理解を深める。
- ☉ 北極海航路による環境影響と北極の持続的利用に関する知識と理解を深める。
- ☉ 北極海航路に関連する分野横断的な研究ネットワークの構築とアジアの動向の分析。
- ☉ 北極海航路に関し、政策決定者への適切な情報と知見の提供。
- ☉ 学際的研究成果の社会実装。

Program 2016年10月26日、10:00~12:00、14:00~16:30

<b>アジアと北極海航路</b> ~変貌する北極域とアジア、欧州とアジア研究者による学際的研究の動向~	
<b>専門家ワークショップ</b> 10:00-12:00	北極海航路、アジア地域の開発、北極政策等に関する研究発表と質疑。言語：英語
<b>会場</b>	<b>北海道大学 北キャンパス 創成研究棟 5F セミナー室</b> 札幌市北区北21条西10丁目
<b>公開セミナー</b> 14:00-16:30 言語：英語 <u>日本語逐次通訳あり</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Perspectives of the NSR and energy resource development</li> <li>▪ Asian interests and policies on the NSR</li> </ul> 北極海航路を中心に、北極の持続的開発ならびにアジア地域における動向等に関する発表と質疑。
<b>会場</b>	<b>北海道大学 遠友学舎 談話室</b> 札幌市北区北18条西7丁目
<b>発表者(TBC)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Prof. Christopher Dent (University of Leeds, Britain)</li> <li>• Dr. Aki Tonami (Tsukuba University, Japan)</li> <li>• Dr. Outi Luova (Turku University, Finland)</li> <li>• Ms. Liisa Kauppila (Turku University, Finland)</li> <li>• Prof. Jae-Seung Lee (Korea University, Korea)</li> <li>• Assistant Prof. Taedong Lee (Yonsei University)</li> <li>• Prof. Natsuhiko Otsuka (Hokkaido University, Japan)</li> <li>• Dr. CONG Xiaonan (Chinese Academy of Social Sciences, China)</li> </ul>
<b>申込・お問合せ</b> (011-706-9625, 大塚)	右記まで “natsuhiko.otsuka@arc.hokudai.ac.jp” お名前、御所属、御職名、連絡先メールアドレスをご記入の上、ご送信ください。会場の都合上、事前申し込みされた方を優先いたします。





## プログラム

### 1: 専門家ワークショップ（英語）

10月26日, 10:00-12:00, (北海道大学 北キャンパス 創成研究棟 5F セミナー室)

司会：クリストファー・デント（リーズ大学）

発表：

- Aki Tonami: **Comparative study on the infrastructure capitalization of Japan And China**  
日本・中国におけるインフラ投資の比較研究
- Xiaonan, Hongjian and Li: **CGE Analysis of Potential Impact of the Northeast Passage on Global Economics**  
CGE 分析による北東航路の世界経済への影響の研究
- Outi Luova: **Hubs of the Arctic Route in the Sea of Japan (East Sea). Old Plans with New Vigour.**  
日本海（東海）における北極航路のハブ、新たな動機と既往の計画
- Jae-Seung Lee: **Risk Management and New Challenges for the Northern Sea Route**  
北極海航路に関するリスクマネジメントと新たな挑戦

### 2: 公開セミナー（英語、日本語逐次通訳）

10月26日, 14:00-16:30, (Hokkaido University Sustainability Week)

司会：大塚夏彦（北海道大学）

発表：

- Christopher Dent : **Asia and the Northern Sea Route from the Grand Frontier Infrastructure Perspective**  
アジアと北極海航路～壮大な辺境のインフラ展望
- Liisa Kauppila: **Hot Spots of Northeast Asian Regional Collaboration in the Arctic: The Role of Chinese Multilevel Actors** 東アジア地域間協力のホットスポット北極における
- Xiaonan, Hongjian and Li: **CGE Analysis of Potential Impact of the Northeast Passage on Global Economics**  
CGE 分析による北東航路の世界経済への影響の研究
- Natsuhiko Otsuka : **Perspective of the NSR from recent activities**  
近年の動向から見た北極海航路の展望
- Jae-Seung Lee: **Risk Management and New Challenges for the Northern Sea Route**  
北極海航路に関するリスクマネジメントと新たな挑戦